



天文資料

2023年10月号

令和5年度 第7号 (10月号)

令和5年9月25日

発行：佐世保市少年科学館

佐世保市少年科学館



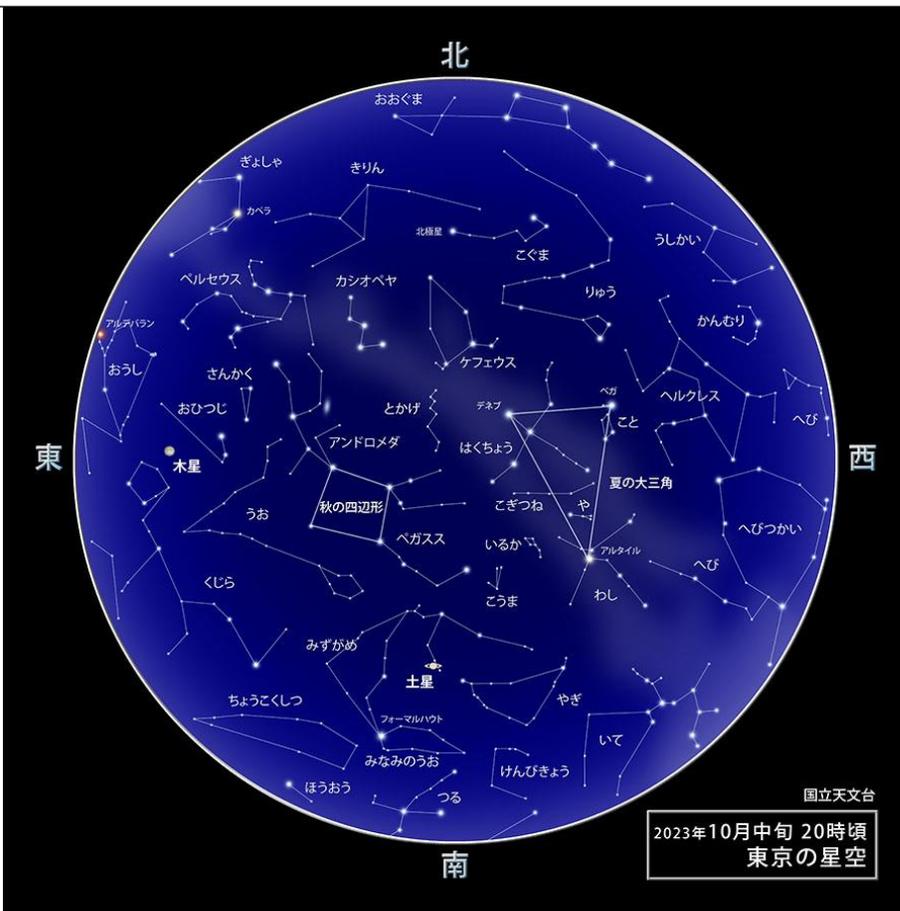
<惑星に月が近づく>

10月になると、日の入りの時刻がずいぶん早くなったことを実感するようになります。日の入り後、空が暗くなって間もない頃は、空の高い位置にまだ夏の**大三角**が見えています。その一方で、**東**の空は秋の星座たちが占めるようになります。

日が暮れると南東の空に落ち着いた**木星**が、東の空には明るい**金星**が見えてきます。また、明け方の空には**金星**がとても明るく輝いています。それぞれの惑星に月が近づく様子を見て

みましょう。29日の未明には、ほぼ日本全国で見られる**部分月食**が起こります。

- 6日 下弦
- 8日 寒露(太陽黄経195度)
- 9日 スポーツの日
- 15日 新月/金環日食(日本では見られない)
- 22日 上弦
- 24日 霜降(太陽黄経210度)
- 29日 満月/部分月食



国立天文台
2023年10月中旬 20時頃
東京の星空



全国一斉プラネタリウム 100周年記念イベント及び天体観望会「月・木星・秋の星座」

全国のプラネタリウム館をつないで、一斉イベントを開催します。世界からのメッセージやオリジナル映像を交えつつ、プラネタリウムが誕生した100年前の星空を映し出します。また、イベント終了後、引き続き天体観望会を実施いたします。

10月21日(土)18:30~20:45 (10月11日(水)午前9時から受付開始)

電話予約制(23-1517) 定員50名

観覧料: 小中学生150円、高校生以上320円

当日が雨天、曇天の場合はプラネタリウムで星座解説を行います。